

グローバル企業間で HSPA モバイル・ブロードバンド技術への人気が高まる

ロンドン、9月23日/PRNewswire/-- 米国、ヨーロッパ、アジア太平洋の1,000企業を対象に行われた、GSMA社依頼の調査*では、HSPAモバイル・ブロードバンド技術への評判は世界中のIT意思決定者の間で高まっているということである。調査によると、現在、モバイル・ブロードバンド接続のHSPAに依存するグローバル組織はWi-Fiを利用する企業よりもかなり多いということである。調査対象組織のうち、現在、36%のIT管理者/重役やCIOは、従業員によるモバイル・ブロードバンドのアクセス方法としてHSPAを展開している。

世界中の企業におけるモバイル技術への予算は今後12ヶ月の間にほぼ2倍になると予想され、IT上級社員の間では従業員の移動性支援や従業員の生産性推進が主な最優先事項となっている。グローバル企業の24%がHSPAモバイル・ブロードバンドによって堅調な恩恵を受けることが確実視されており、今後5年の間に業界基準になるものと予想されている。

調査によると、世界中の労働人口の平均12.3%（業種ごとに）がモバイル・ブロードバンドへアクセスしている。この数値は今後12ヶ月の間に25%の増加を示しており、モバイル・ブロードバンド接続による柔軟性の強化や高速接続、生産性の増加を期待する組織の何百万という新ユーザーに導入される。

「調査結果によると、企業内におけるHSPAモバイル・ブロードバンド技術の浸透に対する世界の見通しは非常に有望である」と、GSMA社CMOマイケル・オハラ氏は述べる。「調査は、企業は革新に強い意欲を示しており、HSPAモバイル・ブロードバンドが提供する自由と柔軟性を認識していることを明確に証明している。」

調査した企業の圧倒的多数である70%以上は、現在、従業員にノート型パソコンやVPNアクセスなどの遠隔アクセス技術を提供している。移動性が技術的考察の最重要要素のひとつになっており、デスクトップを提供する企業は減っている。さらに、グローバル組織の59%が従業員に無線インターネットを提供しているという事実がある。

世界中の企業におけるモバイル・ブロードバンド技術への見通しは極めて肯定的である一方、上級職（会社重役の60%、管理者の62%）および営業担当者（39%）以上の従業員だけにモバイル・ブロードバンド装置を提供しているという調査結果がある。

「グローバル企業は、HSPAモバイル・ブロードバンドが提供する移動性やさらなる自由と柔軟性の重要性を明確に理解している」と、オハラ氏は続ける。「世界的なHSPAエコシステムが今までかつてないほどに成長するにつれて、強化規模の利益によってHSPAは価格や受信範囲サービスエリアの面でさらにアクセスしやすくなる。これによって、この技術は企業内でさまざまなレベルの従業員まで広く展開されるようになる。」

編集者への注記

*調査は GSMA の依頼を受け、Loudhouse 社が実施した。米国、ヨーロッパ、アジア太平洋の大小さまざまな規模の組織 1,000 社を対象に行われた。調査のデモグラフィック詳細については、請求において入手可能である。

GSMA 社について

GSMA 社は世界中のモバイル通信業界の興味を指摘する。GSMA 社は 219 カ国のモバイル事業者およそ 800 社のほか、携帯電話機メーカーやソフトウェア会社、装置プロバイダ、インターネット会社、メディア・エンターテイメント組織などより広い範囲のモバイル・エコシステム 200 社以上を一体化している。GSMA はメンバーに対して新たな機会の革新・培養・創造を目指しており、モバイル通信業界の成長を推進することを最終目標としている。

情報源：GSMA 社

GSMA 社、ポール・ノーラン (Paul Nolan)、ベッキー・カイリー (Becky Kiely)、(アレクシア・ダ・シルバー (Alexia da Silva)、CC グループ (CCgroup)、mobilebroadband@ccgrouppr.com, TEL : +44-118-9207650